

報道関係者 各位

令和元年 8 月 3 0 日

【照会先】

広島労働局職業安定部 職業安定課

課長 境 孝士

課長補佐 高永甲雅巳

(電話) 082 (502) 7831

平成30年度ハローワークのマッチング機能に 関する業務の総合評価の結果等について

厚生労働省では、ハローワークの機能強化を図るため、平成27年度からハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組を実施しています。

このたび、広島労働局（局長：中山 明広）において、平成30年度の本取組に係る管内ハローワークの総合評価の結果等をまとめましたので公表します。

これらの結果等を踏まえ、ハローワークのマッチング機能の更なる強化を図るとともに、利用者のニーズに応じた適切なハローワークサービスの提供を行っていきます。

【総合評価の結果等】

- ◆ 管内ハローワークの11所（出張所は本所に含む。）（※）について、各ハローワークが実施した各種取組の結果、業務改善の実施状況、総合評価の結果及びマッチング関係業務の成果をハローワークごとに別添の「就職支援業務報告」にまとめています。

【別添 1-1～1-11 参照】

（※）広島、広島西条、呉、尾道、福山、三原、三次、可部、府中、広島東及び廿日市の各所。

- ◆ 総合評価の結果としては、すべての本所が「標準的な成果」となりました。

（注）出張所の目標及び実績等は、本所（竹原出張所は広島西条所、安芸高田及び庄原出張所は三次所、大竹出張所は廿日市所）に含まれます。

ハローワーク広島 就職支援業務報告（平成 30 年度）

別添 1－1

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

広島県及び広島市と連携した事業を重点的に取り組みました。

女性を中心とした子育て世代の就労支援においては、ワンストップサービスで仕事と生活の相談を行う取組として、保育施設の情報提供等保育サポート事業を実施する広島県と「子育てしながら働きたい」方を応援しているマザーズハローワークが、同じフロア内で連携し、担当者制による計画的な支援を行いました。担当者制による就職率は 93.0%となり目標の 92.1%を達成しました。また、広島市との連携では、託児室のある市の施設において「マザーズセミナー」を開催し、数多くの方に参加いただきました。

また、生活保護受給者の支援においては、広島市の各区役所の生活保護窓口隣接する場所に設置した職業相談窓口において、個別の支援計画を策定し、きめ細かな就職支援を行いました。その結果、就職件数は 466 件と目標の 456 件を達成しました。

さらに、人手不足対策が喫緊の課題である中で、近隣ハローワークとの連携の下、人手不足分野における業界セミナーを開催し、業界の魅力発信を推進するなど、人材確保対策を強化しました。こうした取組により、特に介護・看護・保育分野については、目標就職件数を上回る実績を上げました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談部門と求人部門で実施している求人充足会議において、求職者が見てより分かりやすい求人内容とするよう見直しを行うなど、両部門が連携し、就職・求人充足支援を推進しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

前年度に比べ求職者が増加したにも関わらず、紹介件数が前年度を大きく下回ったことから、本年度は企業説明会やミニ面接会などマッチング機会を強化し、就職件数及び充足件数の増加を図るとともに、人手不足分野の業界セミナーを拡大して開催し、各業界の魅力を発信することなどにより、求職者及び求人者サービスの強化を図ります。

また、主要 3 指標である就職件数、充足件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数については、目標を達成できませんでしたが、それぞれの課題を踏まえ、担当者制による就職支援の強化に加え、求人充足会議におけるマッチング精度の向上等により、就職件数、充足件数及

び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を目指します。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員 就職件数	公的職業 訓練終了 3か月後の 就職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数
実績	7,751	11,158	2,621	90.1%	95.5%	17.0%	16.9%	517	2,159	497	93.0%	47,312
目標	7,896	11,946	2,860	90.0%	90.0%	18.5%	18.4%	514	1,997	420	92.1%	50,473
目標達成率	98%	93%	91%			91%	91%	100%	108%	118%	100%	93%
	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数	一体的事業 における就 職件数								
実績	3,848	954	131	466								
目標	3,917	882	128	456								
目標達成率	98%	108%	102%	102%								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

雇用情勢の改善が進み、求職者が減少傾向で推移し人手不足が顕著になる中、「求人充足対策」、「職業相談の充実と職業相談窓口への誘導の強化」及び「潜在求職者（ハローワーク未利用者）への働きかけ」に重点を置いた取組を展開しました。

「求人充足対策」については、部門間において求職者ニーズの共有化を図り、これを踏まえた求人条件緩和を即座に行うなど、求人充足支援サービスを推進しました。また、よりマッチング精度を高めるため、企業から求人票に表れない「求人ニーズ」を把握するとともに求人者を対象とした「企業アシストセミナー」を開催し、求職者ニーズを踏まえた求人票の作成方法や人手不足の解消を目指すための様々な支援について取組を行った結果、求人充足件数については、目標を達成（113.6%）しました。

「職業相談の充実と職業相談窓口への誘導の強化」については、きめ細かな職業相談・職業紹介をベースに、求職者ニーズの把握とこれを踏まえた支援メニューの実施を推進したほか、窓口職員のレベルの向上を図るため、マッチング技法、労働基準法等の研修を実施しました。

また、就職支援メニューを利用者へ分かりやすく伝えるため、リーフレットを全面改修するとともに、所内掲示板や音声案内等を活用した窓口誘導策を実施し、さらに、受付での声掛けの徹底を図ったことなどにより、相談件数が年度前半では対前年度比▲12.9%であったものが、年度後半では同比▲4.7%までマイナス幅が縮小しました。

「潜在求職者への働きかけ」については、事業主から雇用保険の資格取得及び資格喪失届が提出された際に、当所独自のリーフレット等を事業主経由で手交するとともに、求人情報誌等の媒体を活用し、幅広にハローワークへの来所勧奨を行いました。また、自治体と連携し、住民票の転入届の申請を行った方に対して当所のリーフレットを手交するなど、ハローワークを利用していない層に対し、ハローワークの利用を促すよう様々な広報を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

利用者の満足度向上をはじめ、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談窓口に求められる「窓口スキル向上研修」をはじめ、若手職員の「業間研修」（雇用保険部門と職業相談部門）の実施のほか、「労働基準法研修」や「地方自治体との共同研修」を実施しました。

特に「窓口スキル向上研修」では、窓口における基本業務のほか、各種助成金や雇用保険などの他部門における業務知識を修得させると

もに、業務に対する姿勢や、P D C Aサイクルによる業務改善の取組に係る意識の向上を図りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者の満足度の向上及び相談したくなるハローワークを目指して、様々なサービス改善、業務改善を行いました。

利用者に手交するリーフレットの全面改修をはじめ、利用者がもっとも目につきやすいよう玄関先の掲示板への「窓口の利用促進」の案内や、各種リーフレットの用途別の配置等、利用者目線に立った改善を行うとともに、職業相談部門と求人部門が連携し、求人内容の見直しによるアピール力の高い求人票の提供にも努めました。

また、求職者が多い時間帯や求職者の利用目的を検証し、職業相談窓口への誘導や雇用保険受給者の早期再就職の意欲喚起等、自動アナウンス装置を活用して様々な案内を行うことで、窓口相談を躊躇している方々に対し、利用しやすいハローワークとなるよう改善を行いました。

さらに、高年齢者への就職支援を強化するため、高年齢者の雇用に前向きである企業を高年齢求職者が求人情報提供端末で探しやすいようにコード番号を設定するなど、サービスの改善を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

利用者満足度調査結果や利用者の方々の声を念頭に置き、様々なサービス改善及び業務改善を行っていきます。

とりわけ、利用者が気持ちよく利用できるよう、庁舎内の美化に努めるとともに、より利用者が使いやすい・分かりやすい冊子等の配架に努めます。また、利用者の方をできる限りお待たせしないスムーズな業務運営を目指すとともに、電話対応も含め、懇切丁寧な対応を心掛け、待ち時間を利用して求職者はできる限り求人検索に誘導するとともに、待合にあるインフォメーションディスプレイを使用して様々な情報提供を行うなど、来所時間が利用者にとって有意義なものとなるよう取組を強化します。

また、利用者の方々からの期待に応えられるハローワークを目指し、さらなるマッチングの向上を図ります。

求人者に対する求人充足の観点では、人手不足の解消に向け、求人内容の充実と積極的な求人条件緩和を推進していきます。

求職者に対する就職促進の観点では、求職者担当者制の強化を図り、よりきめ細かな相談をはじめ、面接対策や応募書類の作成支援などのサービスの充実を図ります。

さらに、昨今の面接会等の就職活動イベントへの集客が低調であることから、東広島市雇用対策協議会（市、商工会議所、ハローワーク）、東広島市社会福祉協議会及び近隣のハローワーク等関係団体等との連携を強め、求人者及び求職者双方に対し、ニーズに合致する魅力のあるイベントを構築します。

職員資質の向上については、引き続き、キャリアコンサルティング力向上研修を実施するなど専門性を高め、利用者から信頼される窓口となるよう取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨災害の影響により、相談件数、紹介件数の落ち込みが大きく、就職者数の実績にも大きく影響した結果となりました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,105	3,525	962	87.6%	97.0%	15.0%	18.6%	130	92.4%	9,876	1,665
目標	3,432	3,103	970	90.0%	90.0%	18.6%	21.2%	125	92.1%	9,526	1,763
目標達成率	90%	113%	99%			80%	87%	104%	100%	103%	94%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

管内労働市場における労働力の需給調整機能を果たすため、主要指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）、所重点指標（マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率、正社員求人数、正社員就職件数、一体的実施事業（生保型）における就職件数）の目標達成、並びに所重点項目のうち地方自治体との連携の推進に特に力を入れて取り組みました。

就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の取組では、雇用保険受給者の認定日において、毎回全員相談を実施して就職に関する希望条件的確な把握や希望条件に合った求人情報を提供するなど就職支援を推進しました。また、日時と担当者を指定した予約相談や「求職者担当者制」、応募書類の作成指導にも積極的に取り組みました。

充足件数の取組では、求人票とともに提供する事業所画像情報の収集や、次長と職業相談部門の管理者（統括職業指導官）が前日に受理したすべての求人票を求職者の視点で見直すとともに、求職者ニーズに合致すると思われる求人を選定する「ブラッシュアップミーティング」を毎日実施し、選定した求人は「統括おすすめ求人」として求職者へ積極的に情報提供しました。また、求人部門と職業相談部門の担当者が求人充足のための方策を練る「求人・求職マッチング会議」の開催や求人の受理から採用までをフォローアップする「求人担当者制」にも取り組みました。

所重点指標であるマザーズハローワーク事業については、プレ相談を実施し、求職者の状況やニーズを把握した上で、重点支援対象者を選定し、予約制及び担当者制によるきめ細かな職業相談を実施しました。また、偶数月に江田島市子育て支援センターに出張相談窓口を開設し、子育て女性等に対する予約相談を実施しました。

また、一体的実施事業（生保型）における就職件数の目標達成に向けて、呉市庁舎内に設置している「就労支援窓口」に就職支援ナビゲーター2名を配置し、「求職者担当者制」により、すべての支援対象者に個別の就労支援プランを作成した上で、同市と連携して就労支援を実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談技法を向上するため、広島労働局主催のキャリアコンサルティング研修に職員3名を参加させるとともに、研修受講者を講師として所内での伝達研修を実施しました。

また、採用や労務管理に関する知識を習得させるため、呉労働基準監督署の職員を講師として、労働基準法全般に関する研修を実施しました。

(2) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成 30 年度は、主要指標のうち雇用保険受給者の早期再就職件数は目標を達成しましたが、就職件数と充足件数は達成することができませんでした。補助指標である利用者満足度（求職者）は目標を達成したものの、利用者満足度（求人者）、求人に対する紹介率及び求職者に対する紹介率は達成することができませんでした。また、所重点指標では、マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率、正社員就職件数及び一体的実施事業（生保型）における就職件数の目標は達成したものの、正社員求人数については達成することができませんでした。

そのため、平成 31 年度は、就職件数や求職者に対する紹介率の年間目標を達成するため、「求職者担当者制」を拡充することとし、年間目標を 100 件（50.0%）引き上げて 300 件とし、対象求職者の再就職支援を強化します。

併せて、求人充足件数や求人に対する紹介率の年間目標を達成するため、「求人担当者制」を拡充することとし、年間目標を 20 件（25.0%）引き上げて 100 件とし、対象求人の充足支援に取り組みます。また、求人開拓を実施して良質求人の確保を努めるとともに、非正規雇用求人から正社員求人への転換を促す働きかけを強化します。

その他、ハローワークを利用していない求職者へハローワーク呉を利用してもらうため、ハローワークの支援メニューやイベント等について情報発信を強化します。

一方、ハローワーク利用者に対するサービスを向上させるためには、職員の資質向上が欠かせないため、引き続き、職業相談技法の向上や就職・採用に関する知識、管内事業所に関する情報を蓄積するため、業務研修や事業所訪問等の充実を図ります。

(3) その他業務運営についての分析等

平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨災害の影響により、被災に伴い離職を余儀なくされた方や思うように求職活動に専念できない方をはじめ、毎日の通勤面への不安等、求職活動が制約される求職者も多く、同月の紹介件数は 631 件（対前年同月比▲26.3%減）と大幅に減少しました。

こうしたことから、平成 30 年度の紹介件数は、上半期では対前年同期比で 804 件（同比▲14.1%）減少しましたが、下半期では新規求職者が徐々に増加したことに加え、サービス改善・業務改善の取組の効果もあり、結果的に 97 件（同比▲1.9%）の減少幅に留まりました。

就職件数については、上半期が 263 件（同比▲13.5%）減少（7 月は 182 件（同比▲30.0%）減少）したのに対し、下半期は 31 件（同比+1.7%）増とわずかながら増加し、充足件数についても、上半期は 148 件（同比▲9.2%）減少（7 月は 177 件（同比▲15.7%）減少）したものの、下半期は 56 件（同比+3.7%）増加しています。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	マザーズハロー ワーク事業 における担当者制 による就職支援を 受けた重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	一体的実施 事業(生保 型)における 就職件数
実績	3,174	2,792	860	81.1%	94.9%	18.5%	19.6%	92.3%	7,655	1,635	106
目標	3,272	2,809	855	90.0%	90.0%	19.9%	20.3%	92.1%	7,793	1,604	106
目標達成率	97%	99%	100%			92%	96%	100%	98%	101%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組み

新規求人数は増加傾向、新規求職者数は減少傾向で推移する中、就職率の向上に重点を置いた業務の取組を行いました。具体的には、求職者に対しては、応募書類の作成、面接に関する助言等を積極的に行い、求職者ニーズを踏まえた就職支援メニューを活用して、就職促進の取組を強化しました。また、求人者に対しては、求職者から見て分かりやすい求人票の作成に努めるとともに、当所では 60 歳以上の求職者の割合が増加傾向にあることから、高年齢者を対象又は歓迎とする求人の確保に努めました。こうした取組の結果、就職率は 39.3%と前年度と同水準となっています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ハローワークにおける求人受理や職業相談等においては、労働法の知識が必要となることから、労働基準監督署の職員による労働基準法に関する研修を実施しました。また、職業相談におけるスキルアップのため、職業紹介担当者を労働局主催のキャリアコンサルティング研修へ送り出すとともに、研修後は受講者による伝達研修を所内で実施し、職員の資質向上に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

高年齢者の就職促進の一環として、60 歳以上の方を対象とした求人情報誌「シニアしまなみ号」を毎月第 2 火曜日に発行し、高年齢の方がより応募しやすいよう求人情報を提供することで、紹介・就職率の向上を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

高年齢者の方々にとって就業が容易と思われる求人の取り込み及びその旨を求人票に分かりやすく記載するよう工夫することにより、高年齢者の方々の再就職を促進するとともに、「紹介担当者全員による求職者担当者制」や「求人担当者制・求人充足会議・事業所訪問の一体的取組」についても、より一層内容を充実させてまいります。

また、今後さらに高齢化率の上昇により、求人・求職のさらなるミスマッチが生ずることが推測されるため、求人・求職条件の緩和などの取組がより一層必要と考えています。また、平成 30 年度に関係機関等と開催した「面接会」などのイベントについても、当該面接会に

参加された方々の就職件数が前年度を上回るなど、一定の成果を挙げていますが、平成 31 年度はさらに開催方法等について関係機関と協議を行い、前年度を上回る成果を出せるよう努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

障害者の就職件数については、目標を達成しましたが、平成 31 年度から障害者雇用率が引上げとなり、これにより 52.3%の未達成企業があります。このため、さらなる雇用率達成指導に取り組むとともに、地域の障害者就労支援機関等との連携をさらに強め、企業に対する個々の障害特性に応じた求人条件の助言と各種助成制度の活用等による雇用管理の支援により、障害者雇用率の向上に努めます。

平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害の影響により、当所では長期間にわたり断水になり、利用者の皆様に御不便をおかけしました。マッチング業務においても、同月の新規求職者数は前年比▲13.9%、紹介件数は同比▲37.9%といずれも大幅に減少するなど、大きな影響がありました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介 率	求職者に対する紹介 率	生活保護 受給者等 就職件数	障害者 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2, 233	2, 205	686	97. 0%	99. 0%	15. 0%	18. 5%	103	133	8, 756	1, 234
目標	2, 407	2, 295	734	90. 0%	90. 0%	18. 1%	21. 2%	100	133	8, 305	1, 257
目標達成率	92%	96%	93%			82%	87%	103%	100%	105%	98%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク福山 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

平成 29 年度に福山市と締結した雇用対策協定に基づき、同市との密接な連携のもと、特色あるイベントを企画し、地元就職を促進するために重点的な取組を進めました。

具体的には、若者、女性、障害者、高齢者等多様な社会参画・人材確保を目的として、各種面接会・セミナー等を積極的に開催し、特に参加者アンケートでは、「翌年度も実施してほしい」との声をいただくなど、いずれの取組も好評であるとともに、ほぼ全ての取組において目標を達成するなど一定の成果を挙げることができました。

また、平成 30 年度から人材不足分野における人材確保を強化するため、「ふくやま人材確保支援コーナー」を新たに設置し、福祉分野や警備・運輸・建設等、人材不足が特に深刻となっている職種について、企業説明会や事業所見学会を積極的に開催するなど、求人充足対策を強化しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談窓口利用のメリットを知らず、職業相談窓口の利用をためらう方をいかに当該窓口へ誘導するかに重点を置き、「窓口活性化プラン」を新たに策定し、職業相談窓口誘導を強化しました。具体的には、平成 29 年度から実施している「ハローワーク活用ナビ」のセミナーをさらに充実させ、職業相談窓口で相談することのメリット等について働きかけをより一層強化するとともに、雇用保険受給者を重点とした求職者担当者制による予約相談の拡充や「ふくやま人材確保支援コーナー」を中心とした求人充足サービスを効果的に提供しました。

加えて、就労意欲の高い高年齢求職者の求職活動を効果的に支援するため、60 歳以上の方の応募が可能な求人を容易に検索できるよう求人情報提供端末に特化ボタンを新設したところ、多くの利用者から好評価をいただいております。今後とも対象求人を拡充していきたいと考えています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

企業の人手不足感が高まる中、「ふくやま人材確保支援コーナー」を中心として、求人者が多数の求職者を対象として自社の魅力をアピールすることができるミニ面接会やマッチングアップセミナー（事業所説明会）をこれまで以上に積極的に開催するなど、求人者サービスのより一層の充実を図っていきます。

また、少子高齢化の進展に伴い若年求職者が減少する一方で、65歳以上の高年齢求職者は増加傾向にあります。このため、福山市と連携してUIJターン対策を進めることに加え、引き続き、「生涯現役支援窓口」において、概ね60歳以上の方を対象にシニア世代の方の採用に意欲的な企業の求人情報の提供や個々のニーズに応じた求人開拓等によって再就職支援を強化するなど、積極的な取組を工夫・検討し、地域の期待に応えていきたいと考えています。

(4) その他業務運営についての分析等

昨年度、当所管内において、障害者の方が働きながら技能を身につける「就労継続支援A型事業所」の経営破たんが発生しました。それに伴い、福山市をはじめとした関係機関と連携し、緊急面接会を本年度にかけて4回開催するなど、離職を余儀なくされた方々の再就職先の確保に最優先に取り組んできたところです。引き続き、今後の動向を注視しつつ、関係機関とも連携しながら多様な障害特性に応じたきめ細かな支援を行っていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介 率	求職者に対する紹介 率	学卒ジョ ブサポー ターの支 援による 正社員就 職件数	ハローワ ークの紹 介により、 正規雇用 に結びつ いたフリ ーター等 の件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	5,259	6,310	2,053	96.3%	96.6%	16.8%	15.0%	724	1,095	92.7%	30,351	2,844	853	95
目標	5,791	7,090	2,066	90.0%	90.0%	19.0%	16.4%	500	1,100	92.1%	31,147	3,086	860	83
目標達成率	90%	88%	99%			88%	91%	144%	99%	100%	97%	92%	99%	114%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数及び充足件数の目標達成を最重点と考え取組を推進するとともに、一人でも多くの求職者を紹介できるよう紹介件数の引上げを特に重点的に取り組みました。

雇用保険受給者の認定日はすべての受給者の方のニーズ把握を強化しつつ、これを踏まえ、求人情報の提供やセミナーの受講勧奨など、職業相談の充実に努めました。

また、これまで一部の高年齢者だけに活用していた求人情報誌「高年齢者応援求人情報」を、求人者の意向も踏まえた上で、職業相談の過程において高年齢者以外の求職者に対しても積極的に情報提供することにより、幅広い年齢層の求職者に対する就職支援に役立てました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ハローワークにおける求人受理や職業相談等においては、各種労働法の知識が必要となることから、労働基準監督署の担当者による労働基準法に関する研修を実施しました。また、職業相談におけるスキルアップのため、職業紹介担当者を労働局主催のキャリアコンサルティング研修へ送り出すとともに、キャリアコンサルタント資格取得を目指す職員・相談員に対して当所独自の研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者支援サービスとして、管内の新規求職者及び有効求職者の年齢構成等を分析の上グラフ化し、来所された求人者に対し、求人申込時等を活用して情報提供し、求職者が応募しやすい求人となるよう取り組みました。また、作成した資料を基に管内の求職者の状況について求人者へ説明し、高年齢者の採用にも理解を求めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

高年齢者向けの求人情報誌「高年齢者応援求人情報」というタイトルを「シニアジョブガイド」と改め、高年齢者層以外の 40 歳代、50 歳代の求職者にも活用できるよう取り組みました。この結果、「シニアジョブガイド」に掲載した求人に対する紹介成功率は当所で受理した求

人全体と比べて高くなりました。引き続き、対象求人を増やしていくことで就職件数及び充足件数の引上げに努めていきます。また、高齢者に対して分かりやすい求人情報誌とするよう大きい文字に見直すなど、引き続き、読みやすいものとしていきます。

また、今後は事業所訪問を充実させ、より一層の求人者支援サービスを強化していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害により、三原市本郷地区をはじめ三原市内各地の被害は甚大であり、事業活動や求職活動への影響は大きく、7 月の紹介件数は前年同月比▲32.3% (▲110 件) となるなど、マッチング業務への影響は大きい結果となりました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,384	1,051	461	84.0%	97.6%	14.6%	18.9%	64	4,077	674
目標	1,426	1,199	412	90.0%	90.0%	18.0%	23.3%	60	4,540	718
目標達成率	97%	87%	111%			81%	81%	106%	89%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク三次 就職支援業務報告（平成 30 年度）

別添 1－7

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数の目標達成を最重点と考え、特に雇用保険受給者の早期再就職促進を図るため、失業認定日の全員相談や給付制限中の方に対し、認定日当日（毎月）の来所勧奨による就職支援等を強化した結果、雇用保険受給者に対する早期再就職件数は目標を達成しました。

また、人手不足が深刻な介護職等福祉関連求人に対する求人充足サービスとして、福祉関連企業の事業所説明会・ミニ面接会を開催するとともに福祉関連求人に特化した求人情報誌を発行し、求人・求職のマッチング促進を強化して取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

全職員を対象に、三次労働基準監督署の職員を講師として、労働基準法に関する研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎内の各種ポスター・チラシ等の掲示場所等について、利用者目線による見直しを図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少傾向で推移する中で、人手不足分野を中心に求人充足が喫緊の課題となっており、求職者にとって分かりやすい求人票づくりをはじめ、求人票に記載のない事業所情報の収集・提供、企業説明会やミニ面接会の開催等を継続して取り組むことで、就職件数、充足件数の引上げを図ります。また、求職者担当者制によるきめ細かな就職支援を引き続き、推進します。

（4）その他業務運営についての分析等

平成 29 年 11 月、三次市と締結した雇用対策協定により、同市とハローワークがより近い存在となり、若者の地元就職や女性の就職支援をはじめ、各種面接会の開催など、事業の遂行に一体感が生まれ、雇用対策事業を効果的に推進することができています。今後も常に地元を意識し、地域の期待に応えられるよう業務に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介 率	求職者に対する紹介 率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数
実績	2,101	1,979	561	93.3%	96.8%	14.1%	19.9%	162	6,250	1,025	234
目標	2,091	1,925	556	90.0%	90.0%	14.5%	20.2%	119	6,177	1,018	271
目標達成率	100%	102%	100%			97%	98%	136%	101%	100%	86%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク可部 就職支援業務報告（平成 30 年度）

別添 1－8

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

主要指標である「就職件数」、「充足件数」、「雇用保険受給者早期就職件数」の目標達成を最重点に取り組みました。具体的には、初めてハローワークに来所された方をはじめ、求人検索が目的で来所された方に対して求職登録を呼びかけ、積極的に職業相談窓口への誘導を行うとともに、職業相談窓口では職員からの求人提案や応募書類の作成の支援を行いつつ職業紹介につなげ、求人受理時には、応募したくなるような求人にするよう魅力ある求人票の作成支援や求人条件緩和指導を行いました。求人者と求職者の出会いの場（マッチングの機会）としては、所内ミニ面接会や事業所見学会を積極的に開催しました。また、雇用保険受給者に対しては、早期就職のメリットを周知するためのチラシを作成・配布するなどを取り組みました。この結果、目標達成率は、就職件数が 97%、充足数が 95%、雇用保険受給者早期再就職件数が 97%と求職者が減少傾向にある中で、目標を若干下回る結果となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、労働局主催のキャリアコンサルティング研修の講師を務めた職員を講師として、キャリアコンサルティング研修を 1 回、2 級キャリアコンサルティング技能士受検対策の勉強会を 3 回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎内のポスター掲示やリーフレットの陳列について点検し、スペースの関係から所内のあちこちで分かりづらくなっているものがあつたため、新たにボードと陳列台を設置し、職業訓練案内や事業所説明会など、テーマ別に集約することで必要な情報が一目で分かるように見直し、利用者目線での情報提供ができるように改善しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

事業所説明会は、福祉関係を中心に計 170 回開催し、求職者は 259 名の参加となり、事業内容を理解していただく絶好の機会となりましたが、就職数は伸び悩んだため、今後は正社員求人に重点を置きながら、職業相談窓口で希望職種など求職者ニーズをよりの確に把握しつ

つ参加勧奨を行うなど、改善に取り組めます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 31 年 4 月に設置した「生涯現役支援窓口」において、職業相談部門と求人担当部門が連携し、短時間就労を希望する高年齢者の個別ニーズに基づく求人開拓等を実施するなど、就職支援を強化します。

また、求人情報提供端末に「高齢者歓迎求人」のメニューボタンを新設し、さらなる利用者サービスの向上を図ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	フリーター等 の正規雇用 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	一体的実施 就職件数
実績	2, 904	1, 466	817	80. 5%	95. 7%	18. 2%	18. 0%	578	5, 364	1, 507	93
目標	2, 968	1, 537	837	90. 0%	90. 0%	20. 8%	19. 6%	300	5, 159	1, 461	91
目標達成率	97%	95%	97%			87%	91%	192%	103%	103%	102%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク府中 就職支援業務報告（平成 30 年度）

別添 1－9

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職の主要三項目の目標達成を重点的に取り組むこととし、特に雇用保険受給者の早期再就職に向けての取組では、雇用保険受給者の認定日における全員相談を積極的に実施しました。その結果、雇用保険受給者の早期就職者割合は目標進捗率 109%で、早期再就職割合は 45.5%と局内各ハローワークの中で最も高い結果となっています。

また、就職件数、充足件数についても、求人充足検討会議や求人担当者制の充実等を図った結果、二項目とも目標を達成し、主要三項目すべてが目標を達成しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の育成を図る観点から、「効果的な P D C A サイクルについて」をテーマに、全職員を対象に研修しました。また、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要となることから、労働基準行政等との共同研修を 1 回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職員研修の一環として、DVDを活用した「接遇研修」を全職員を対象に実施し、各課部門における接遇のあり方について改めて見つめ直し、窓口業務のサービス向上を図りました。

利用者からは「じっくり、ていねいに相談してもらえる。」などの評価の声を頂いており、引き続き、利用者目線による接遇を徹底します。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足の傾向が続いている中、引き続き、求人者ニーズの的確な把握や就業場所の様子等の画像情報の収集に努めるとともに、求人充足検討会議を以前は月 1 回の開催のところを平成 30 年度は月 4 回開催するとともに、所長も出席して必要な助言を行うなど、求人充足対策を強化しました。今後もこの取組を継続することで、充足件数の引上げや求人者、求職者に対する満足度のアップを目指します。

また、新規求職者が減少傾向で推移していることから、求人検索に来所された方の職業相談窓口への誘導や自治体と連携した合同選考会の開催等、求職者に対する職業相談窓口の利用促進策を通じてさらなる求職者に対する働きかけを進め、就職件数の引上げに取り組めます。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	求人に 対する 紹介率	求職者に 対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数
実績	1,382	845	239	72.4%	98.6%	16.5%	22.6%	2,504	766	219
目標	1,329	783	219	90.0%	90.0%	17.9%	23.7%	2,420	767	209
目標達成率	103%	107%	109%			92%	95%	103%	99%	104%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

職業相談関係部門全体における目標達成に向けた意識の共有が、各指標の実績向上のためには重要であると考え、定期的なマッチングプロジェクト会議の開催や所内向けメルマガ発信等により、進捗状況やその時々課題等、各種情報の共有を意識的に行い、部門間を超えた一体感の醸成を図りました。マッチングにおける進捗管理については、就職件数や充足件数、紹介件数等、目標達成状況を週ごとに確認し、取組状況を検証の上、改善策を落とし込むことで、就職件数、充足件数については年度目標を達成することができました。

特に、増加する求人への充足支援を重点的に取り組むため、当所に設置している、「ひろしま人材確保支援コーナー」を中心に、近隣所や他の機関と連携したセミナーやガイダンスを実施しました。セミナー等では、これまでハローワークを利用したことのない方々にもハローワークの就職支援サービスをPRし、求職活動を進めるきっかけづくりに役立てました。

また、介護・看護・保育分野については、自治体や関係機関とも緊密な連携関係のもとで総合就職フェアを10月と2月の2回開催し、合計の参加企業は47社、参加求職者は285名、うち就職者は41名と一定の成果を上げており、平成31年度においても継続した取組としていく予定です。

こうした大規模なイベントの他にも、日常的な求人情報提供や面接会等の取組を通じて、平成30年度マッチング総合評価の目標の一つである「介護・看護・保育分野の就職件数」は670件と目標の590件を大きく上回る結果となりました。

さらに、福祉分野だけでなく、建設、警備、運輸等のいわゆる人材不足分野についても、職場説明会や面接会、見学会などを積極的に実施し、多くの求職者の方へ、これらの分野の魅力について、情報発信を強化しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

全職員を対象とした求人業務研修を実施し、職業安定行政の果たすべき役割や労働法について講義を行い、職員の資質向上を図りました。

また、職業相談経験がない、あるいは浅い若手職員を主な対象としたキャリアコンサルティングの基礎知識についての研修を、所内のキャリアコンサルタント資格を有する職員を講師として実施し、業務知識の付与や専門性の向上に努めました。

さらに、「働き方改革」について理解を深めるため、広島労働局雇用環境・均等室に講師を依頼し、2回に分けて研修を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

待合スペースに、多系統の番号で呼び出しのできるボイスコールを導入し、一般職業相談の他、雇用保険の相談や訓練関係等、来所目的に応じた案内が、専用の番号を使用することによって、分かりやすく案内が行えるよう利便性の向上を図りました。

人材不足分野の中でも保育分野については、資格を有しているものの、保育職への再就職希望者が少ない状況にありますが、その一方で、保育士資格は有しないものの保育の仕事に興味・関心がある方は少なからずおられるため、広島市私立保育協会の協力を得て、専門教育機関以外で資格取得の方法などを相談できる「保育のお仕事相談会」を開催したところ、多数の参加者があり、保育分野の人材確保に向けた裾野拡大の一助としました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求人が増加し、依然として人手不足感が高まっている現状を踏まえ、さらなる求人充足を促進するため、近隣ハローワークと関係機関・団体・企業との連携のもと、当所に設置している「ひろしま人材確保支援コーナー」での各種セミナーや説明会・見学会・面接会を積極的に実施します。また、人材確保支援コーナーで主な対象としている、福祉、建設、運輸、警備の4分野以外についても、毎週開催する求人充足会議や求人担当者制のメンバーを充実強化することで、求人充足支援を推進していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成30年度は、特に高齢者の新規登録が増加しており、「生涯現役支援窓口」の活用を推進し、高齢者の就職促進を図るとともに、若年者についても、原則として担当者制による就職支援を行う等、さらなる強化を図ることとしています。

昨年7月の西日本豪雨災害により、当所管内においても、甚大な被害がありました。当所では、被害を受けられた方々のお気持ちに寄り添うことを第一に、雇用保険の特例に基づく支援施策等、職員が一丸となって被災者に対する相談業務を遂行しました。被災された方々を含めた雇用保険受給者の早期再就職に向けては、認定日における職業相談機能の強化のため、認定担当部門と職業相談部門の連携要領を策定し、各々の求職者が就職活動期間の経過によっても変化するニーズの的確な把握に努め、就職支援を推進しました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する紹介 率	求職者に 対する紹 介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数	一体的実 施事業に おける就 職件数
実績	3,662	5,076	1,595	94.7%	97.8%	15.6%	16.1%	337	16,635	1,855	670	257
目標	3,644	5,035	1,703	90.0%	90.0%	17.1%	18.5%	360	17,563	1,817	590	243
目標達成率	100%	100%	93%			91%	87%	93%	94%	102%	113%	105%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数と充足件数の目標を達成するため、次の取組を行いました。

～求職者に向けて～

- ・ 求人情報の収集に来られた利用者に対して、職員による職業相談を受けることができることを受付でお伝えし、職業相談窓口への利用を積極的に勧めました。
- ・ 職業相談では、求職者のニーズやお困りごとをしっかりと傾聴する姿勢を持って、課題解決のためのアドバイスやニーズにあった求人情報の提供、応募書類の添削、面接に向けての支援などを積極的に推進しました。
- ・ 雇用保険を受給されている方々に対しては、来所の都度、職業相談窓口へお寄りいただき、早期再就職に向けた支援を行いました。

～求人者に向けて～

- ・ 求人を受理する際、求職者ニーズを伝えるとともに、求職者の目にとまりやすい求人票とするよう記載方法のアドバイスや雇用管理改善助成金等の活用も提案しました。
- ・ 求人者から『人材を紹介してほしい』という要望には、求人受付担当と職業相談担当が緊密に連携し、求人条件に合致と思われる求職者に対して積極的に求人票を提供するなど、マッチングの推進に努めました。
- ・ 求人者と求職者の出会いの場を積極的に設けるため、毎週火曜日に管内事業所を中心としたミニ面接会を実施しました。
- ・ 今年度から新たに、雇用保険説明会において、離職後間もない雇用保険受給者に対し、管内の事業所の魅力や業界情報を発信する『事業所 PR タイム』を設け、早期再就職促進に役立てました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

働き方改革関連法の施行を踏まえ、すべての職員を対象に、改正労働基準法に関する研修を 1 回実施しました。

また、様々な利用者の期待に応え、しっかりと対応できるよう、発達障害者の支援に係る研修を 1 回実施し、職員の資質向上に努めました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・求人情報検索の際に、フリーワード検索ができるようパソコンへキーボードを据え付けるよう工夫し、求職者の利便性向上を図りました。
- ・『求人者と求職者の出会いの場』を少しでも多く提供することに力を入れ、平成 29 年度を大きく上回る回数の『ミニ面接会』を実施しました。
- ・雇用保険説明会において、管内の事業所を対象とした『事業所 PR タイム』を設け、業界のイメージや企業の魅力の発信を支援し、求職者が希望する職域の拡大と就職意欲の喚起に役立てました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者、求人者に対する支援を一層充実させていくことを目標に掲げ、次のことを重点的に取り組みます。

- ・求職者に対しては、担当者制により、きめ細かな就職支援を行っていきます。また、管内の事業所の魅力を知っていただくため、ミニ面接会や事業所 PR タイムを積極的に展開していきます。
- ・求人者に対しては、事業所訪問を積極的に行い、事業所の方との信頼関係を構築するとともに、求人票に書かれていないニーズを把握するなどにより、求人充足支援を積極的に推進していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

60 歳以上の求職者は増加傾向にあり、高年齢者の方の就職支援は重要と考えています。平成 31 年度から、当所の職業相談窓口に「生涯現役活躍相談窓口」を開設し、高年齢求職者に対する個々のニーズを踏まえたきめ細かな職業相談や就職支援サービスを積極的に提供していきます。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	求人に 対する 紹介率	求職者に 対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2, 806	1, 416	862	82. 4%	90. 6%	17. 8%	19. 8%	61	94. 9%	3, 976	1, 491
目標	2, 964	1, 482	763	90. 0%	90. 0%	20. 3%	21. 9%	75	92. 1%	4, 336	1, 496
目標達成率	94%	95%	112%			87%	90%	81%	103%	91%	99%

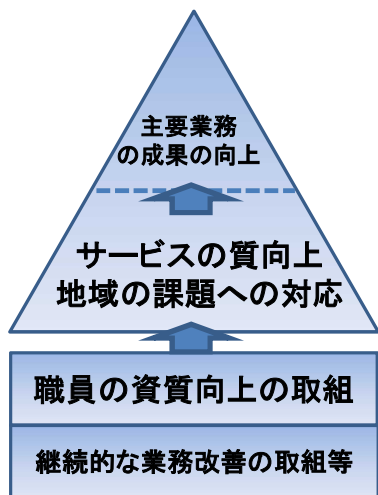
※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・従来の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- ・地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- ・中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- ・業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表
- ・業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ・ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- ・労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- ・評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
- ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
- ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
- ③好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催